

KAIT

2024
卒業式号

No.208

Kanagawa Institute Of Technology [カイト]
神奈川工科大学広報誌

CONTENTS

- 1 2024年度 神奈川工科大学 学位記授与式・卒業式挙行
学長メッセージ
 - 2 2024年度 各種表彰
 - 5 学科長メッセージ・専攻主任メッセージ
-
- 23 大学からのお知らせ／第46回後援会総会報告
 - 25 News&Topics／2025年度学年暦
 - 27 第7回工大サミット開催報告



学位記授与式・卒業式挙行



学び舎を巣立つ皆さんへ

学長
小宮 一三

このたび学位記を授与された大学院修了生、学部卒業生の皆さんに心よりお祝い申し上げます。皆さんは入学以来コロナ禍の中、不自由な学生生活を過ごされましたが、ようやく平時に戻り、晴れてこの日を迎えることができました。本日授与された学位記は厳しい環境を乗り越え、頑張り通した皆さんの努力の結晶です。ぜひ誇りにしていただきたいと思います。そして何よりも、今まで励まし、支えてくれたご父母、ご家族に感謝の気持ちを持って、新たなスタートを切ってほしいと思います。

今、社会は大きく変化しています。人工知能（AI）、医生命科学など、科学技術が急速に進展する一方、少子化・人口減、地球環境問題などの課題も抱えています。このような変化の時代こそ若い皆さんの出番です。卒業後それぞれ進む道は違って、本学で培った「技術に強く、人に優しい」KAITスピリッツを大いに発揮し、次世代を担う技術者、職業人として存分に活躍してほしいと思います。

今日、皆さんは学び舎を巣立ちますが、社会に出てからも学びを継続して欲しいと思います。皆さんには「一生勉強 一生青春」という言葉をお贈りします。これは学びと人の生き方を求め続けた詩人で書道家の相田みつを先生の言葉です。書に親しみ、様々な人との出会いや体験などを通して学びを継続していくことで、新しい知識や発見が得られ、自らの成長につながるという意味です。「一生勉強 一生青春」、人生100年時代に向かい力強く人生の指針を与えてくれる言葉だと思います。

幾徳学園神奈川工科大学は、2023年の創立60周年を節目に「伝統を礎に未来をつくる大学」を長期目標とするKAIT Vision60を策定し、その目標のもと学生本位の教育、社会のニーズに応える研究、地域連携・貢献に一層力を入れ、成長を続けています。また、記念事業の一環として地域連携とeスポーツの拠点となるKAIT TOWN棟もオープンしました。ぜひ、ホームカミングデイや幾徳祭などを利用し、気軽に大学へ遊びに来てください。私達教職員はいつまでも皆さんとつくる輪を大切にしたいと思っています。

結びに、皆さんのご健康とこれからの益々のご活躍をお祈りし、祝辞といたします。

2024年度 各種表彰

本学では、学業や課外活動等において優秀な成績を修めた学生や団体を表彰する制度を設けています。2024年度では以下の学生および団体が表彰されました。

『成績優秀表彰』表彰者

工学部

| | |
|-----------|-------|
| 機械工学科 | 大野 瑠倭 |
| 電気電子情報工学科 | 藪田 梨央 |
| 応用化学科 | 関谷 夏菜 |

情報学部

| | |
|----------------------|-------|
| 情報工学科 | 大宮 翼 |
| 情報ネットワーク・コミュニケーション学科 | 長瀬 友樹 |
| 情報メディア学科 | 李 建博 |

創造工学部

| | |
|-----------------|-------|
| 自動車システム開発工学科 | 小林 遼哉 |
| ロボット・メカトロニクス学科 | 小川 優司 |
| ホームエレクトロニクス開発学科 | 持田 栞 |

応用バイオ科学部

| | |
|----------|------|
| 応用バイオ科学科 | 趙 子儀 |
|----------|------|

健康医療科学部

| | |
|--------|-------|
| 看護学科 | 辻嶋 杏 |
| 管理栄養学科 | 寶福 京香 |
| 臨床工学科 | 宗田 直弥 |

『松川 サク工業賞』表彰者

情報学部

| | |
|----------------------|-------|
| 情報ネットワーク・コミュニケーション学科 | 小林 悠人 |
| 情報メディア学科 | 岸 咲来 |

[課外活動部門]

課外活動賞

(個人表彰・最優秀課外活動賞)

「サッカー部」

鎌田 竣斗(電気電子情報工学科)

(個人表彰)

「硬式野球部」

古西 祐羽(電気電子情報工学科)
木本 光祐(情報ネットワーク・コミュニケーション学科)
伊藤 幸希(ホームエレクトロニクス開発学科)

(団体表彰)

「柔道部(女子)」

代表者 加藤 まなみ(情報メディア学科)
栗原 真優(管理栄養学科)

「KAIT EDTC」

代表者 鈴木 一平/恩田 陸斗/渡邊 拓真/熊谷 大和
棚橋 知哉(ロボット・メカトロニクス学科)

「KAIT eSports」

代表者 小早川 唯志/佐々木 初優/岸本 航汰(機械工学科)
浅野 佑太朗/櫛田 翼/樋口 諒(電気電子情報工学科)
中嶋 咲太/吉田 友太(応用化学科)/山本 健/清水 虹輝
渡邊 真也/新保 一弥/志田 林磯/石井 音葉(情報工学科)
石川 雅隆/小野 貴裕(情報ネットワーク・コミュニケーション学科)
黒田 隼海/大井 映真/横森 康/町田 智哉/下園 玲那
飯塚 優羅/角谷 謙太/久芳 匠(情報メディア学科)

[ハイアクティビティ部門]

ハイアクティビティ賞

(個人表彰・最優秀ハイアクティビティ賞)

鈴木 梨花(情報メディア学科)

(個人表彰)

木村 尚也(博士前期機械システム工学専攻)/齊藤 仁/橋本 浩規
皆川 裕希(博士前期情報工学専攻)/吉田 悠力(機械工学科)
大竹 敦也/藪田 梨央(電気電子情報工学科)/宮本 心
森田 滉介/水知 陸/古屋 岳人/坂井 楓/井上 莊大
田部井 飛翔/森田 春輝/長門 慶(情報工学科)
磯野 玄光/関根 慧(ロボット・メカトロニクス学科)/加藤 龍帆
樋口 智明(ホームエレクトロニクス開発学科)/小齋 美琴
永盛 裕詩(管理栄養学科)

[ハイアクティビティ部門]

(団体表彰・最優秀ハイアクティビティ賞)

「電気電子情報工学科AIカーチーム」

島村 優希(博士後期電気電子工学専攻) / 代表者 堀内 佑紀
古屋 歩起 / 鈴木 菜央 / 木ノ下 秀聡
小瀬村 正弘(博士前期電気電子工学専攻) / 遠藤 海 / 遠藤 昂

岡崎 元哉 / 近藤 智哉 / 小谷 幸輝 / 田中 佑樹 / 伊藤 亘康
田邊 駿明 / 鈴木 賢太 / 杵淵 大翔 / 唐澤 慧 / 堀 温翔
荏原 綾乃 / 関 紗花 / 龍野 永 / 富川 真奈
樽谷 遼太郎(電気電子情報工学科)

(団体表彰)

「ものづくりサークルLife Hackers」

高橋 風汰(機械工学科) / 代表者 渡邊 田実 / 松永 大輝
川村 輝喜(ホームエレクトロニクス開発学科)

「流れのふしぎ展スタッフ」

代表者 吉田 龍平(博士前期機械工学専攻) / 清田 拓実
谷口 祐一(博士前期機械システム工学専攻) / 今野 美羽
樋口 結大 / 宮下 佑月 / 高橋 良明 / 鈴木 把夢 / 中澤 智哉
佐藤 広能 / 熊谷 凌汰 / 八木橋 徹 / 納富 颯月(機械工学科)
西野 隼(応用化学科) / 雨宮 康大 / 中桐 希(情報工学科)
船木 滯(情報ネットワーク・コミュニケーション学科)
大嶺 心琉(情報メディア学科)

「レゴブロック研究会」

代表者 藤田 優一郎 / 中山 鴻志(博士前期電気電子工学専攻)
松永 大輝 / 池田 龍生 / 関口 幸之助 / 鈴木 亮吾
白石 巧(ホームエレクトロニクス開発学科)

「先進AI応用推進チーム」

代表者 高橋 昂也(博士後期電気電子工学専攻)
成田 一穂(博士前期電気電子工学専攻) / 柴田 陽平
遠藤 空(ホームエレクトロニクス開発学科)

「ニーズ・シーズマッチング交流会出展チーム」

代表者 亀田 凱聖 / 川口 大夢 / 黒澤 武寛(情報工学科)
笹島 和哉(情報メディア学科)

「防犯ボランティア団体 KAIT BLUE」

谷口 祐一(博士前期機械システム工学専攻)
山本 義耶(情報工学科) / 代表者 大工原 望乃子 / 梅崎 音羽
船木 滯 / 會田 真珠(情報ネットワーク・コミュニケーション学科)
國吉 愛香(情報メディア学科)
関根 慧(ロボット・メカトロニクス学科)

「KAIT AI Racing」

代表者 清田 拓実 / 島 大斗
谷口 祐一(博士前期機械システム工学専攻)

「海外協定校短期研修生バディ」

島 大斗(博士前期機械システム工学専攻)
代表者 瀬尾 幸斗(博士前期情報工学専攻)
小林 真丈(博士前期ロボット・メカトロニクスシステム専攻)
設楽 楓 / 川口 大夢 / 黒澤 武寛 / 松尾 空(情報工学科)

「渡部研究室デザイン切り紙グループ」

代表者 友田 七海(博士前期機械工学専攻)
井出 守一 / 友成 翼(機械工学科)

「折り紙LEDチーム」

代表者 渡辺 琴凧 / 東 千夏子(ホームエレクトロニクス開発学科)

「さくらフェスタ2025」

代表者 三浦 凱都 / 井上 友希 / 山本 大地 / 若林 健太
竹中 誠人 / 石川 雅隆 / 渡邊 和樹 / 米岡 祐貴
五十嵐 星那 / 山本 和矢 / 小原 祥太 / 菊池 政志
金原 右恭 / 二見 琉太 / 佐藤 瑞輝 / 齋藤 旭 / 北原 恭
梅田 崇晴 / 森 昌也
田口 晴己(情報ネットワーク・コミュニケーション学科)
工藤 聖央(ホームエレクトロニクス開発学科)

「TUYAOTO 2024」

竹中 誠人 / 石川 雅隆 / 三浦 凱都 / 山本 和矢 / 齋藤 旭
菊池 政志(情報ネットワーク・コミュニケーション学科)
代表者 工藤 聖央(ホームエレクトロニクス開発学科)

「チームネットワークラボ2024」

代表者 山本 大地 / 井上 友希 / 山田 尚武 / 榎本 和希
苅谷 晃希 / 若林 健太 / 渡邊 和樹 / 石川 雅隆
畠中 悠太郎 / 柳瀬 陽人 / 米岡 祐貴 / 山添 勇人
竹中 誠人 / 三浦 凱都 / 山本 和矢 / 梅田 崇晴 / 笠松 琉斗
森 昌也 / 二見 琉太 / 國吉 美桜 / 富岡 茉和 / 佐々木 淳哉
栗原 北斗 / 田村 祐樹 / 寺島 新太
渡部 陽香(情報ネットワーク・コミュニケーション学科)
工藤 聖央(ホームエレクトロニクス開発学科)

「ShowNet2024 KAIT Team」

代表者 三浦 凱都 / 渡邊 和樹 / 井上 友希 / 山本 大地
榎本 和希 / 梅田 崇晴(情報ネットワーク・コミュニケーション学科)

「Neo Talk」

瀬尾 幸斗(博士前期情報工学専攻) / 代表者 設楽 楓
佐藤 智也(情報工学科)

「電気電子情報工学科 スーパーママチャリGPチーム」

代表者 島村 優希(博士後期電気電子工学専攻) / ムコンド 隼
堀内 佑紀 / 菅原 暉典 / 鈴木 菜央 / 永野 裕大
木ノ下 秀聡 / 池田 泰誠 / 甲地 洋介 / 盛 百立 / 広沢 駿翔
小瀬村 正弘(博士前期電気電子工学専攻) / 遠藤 海 / 遠藤 琢磨
近藤 智哉 / 亀田 啓仁 / 赤澤 慶輔 / 玻座真 奈由
田中 佑樹 / 伊藤 亘康 / 堀尾 祐仁 / 鈴木 賢太
北川原 寛大 / 杵淵 大翔(電気電子情報工学科)
遠藤 空(ホームエレクトロニクス開発学科)

「SDGs HUB」

代表者 中山 僚太 / 小瀬村 正弘(博士前期電気電子工学専攻)
大野 温公(機械工学科)
樋口 智明(ホームエレクトロニクス開発学科)

「リフティングカウンターチーム」

代表者 石内 涼太 / 浅野 嵩人(ホームエレクトロニクス開発学科)



Kait Campus



卒業生へのメッセージ

贈る言葉

機械工学科を卒業される皆さん、おめでとうございます。ご家族の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

大学生活はいかがでしたか。予想外のことが多かったのではないのでしょうか。特に、卒業研究では、どうすれば結果が得られるのか分からない問題に取り組み、予想外の連続だったことと思います。ですから、当初の目標に届かなかったとしても、むしろ自然なことです。研究に限ったことではありませんが、たとえ目標どおりの結果が得られなかったとしても、見ようとするれば、その過程の中に大切なものが見えてくるのではないのでしょうか。

最近、タイパ(タイムパフォーマンス)という言葉をよく耳にします。タイパで測るものがあったとしてもよいと思いますが、何をタイパで測るか、測らないかは人によって異なるでしょう。ただ、タイパで測るということは、目標以外のものの価値を無視するということです。変化の激しいこの時代、目標に向かって一直線に進めるはずがありません。本当に大切なものは、目標の場所ではなく、案外、回り道の中で偶然見つかるものなのかもしれません。

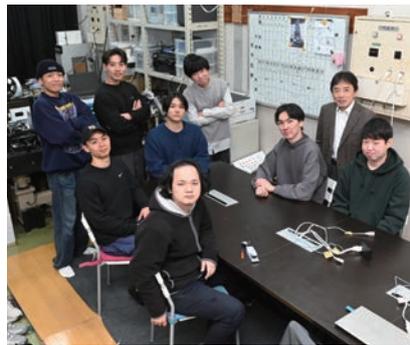
皆さんの幸せをお祈りしています。



機械工学科
学科長 教授
有川 敬輔



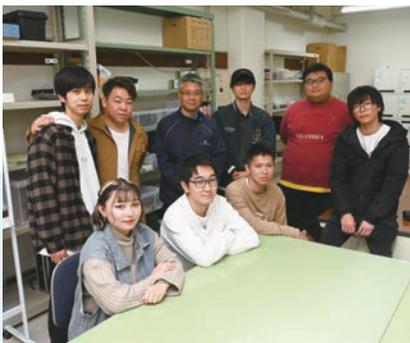
有川 敬輔 研究室
(ロボット機構学研究室)



今井 健一郎 研究室
(精密加工研究室)



川島 豪 研究室
(振動システム実験研究室)



小池 利康 研究室
(熱機関工学研究室)



小机 わかえ 研究室
(構造動力学研究室)



佐藤 智明 研究室
(教育機械工学研究室)



照井 冬人 研究室
(宇宙制御工学研究室)



中根 一郎 研究室
(流体物理学研究室)



萩野 直人 研究室
(熱流体工学研究室)



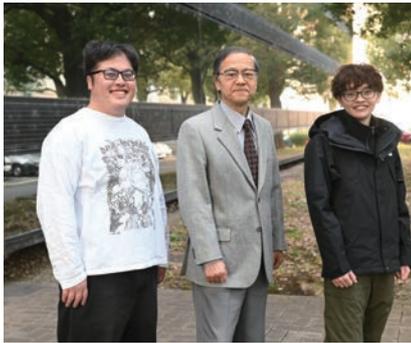
林 直樹 研究室
(燃焼工学研究室)



水野 敏広 研究室
(生産工学研究室)



渡部 武夫・吉岡 孝和 研究室
(宇宙機構造デザイン研究室/動的設計研究室)



石綿 良三 研究室
(流体科学研究室)



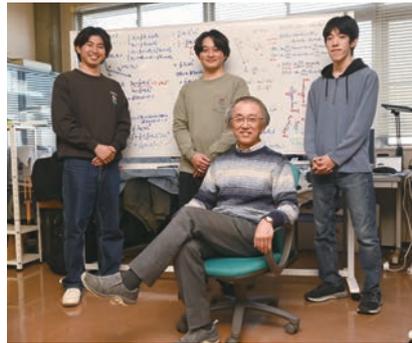
門田 和雄 研究室
(機械技術教育研究室)



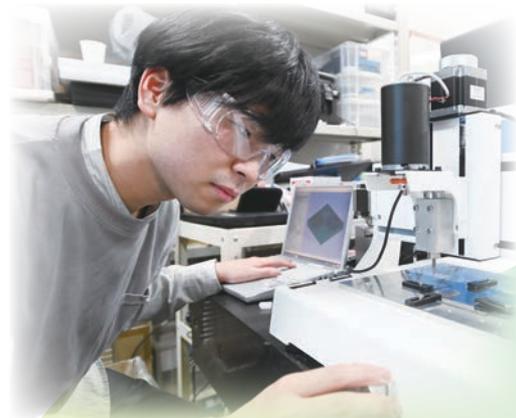
栗田 泰生 研究室
(基礎物理学・宇宙物理学研究室)



佐藤 史緒 研究室
(教育心理学研究室)



山本 一雄 研究室
(計算物理学・力学シミュレーション研究室)



卒業生へのメッセージ

卒業生の皆さん、大学院修了生の皆さん、
そしてご家族の皆様、卒業・修了おめでとうございます

卒業生の一人ひとりが新たな道に胸を弾ませていることだろうと思います。特に、社会人になると、努力した分だけ給料が増えていきますので、とてもやりがいも湧いてくると思います。しかし、お金をもらうということは、プロになるということです。これには大きな責任が伴います。今後幾度も困難に直面することになると思いますが、転んでも何かを掴んで立ち上がって成長していきましょう。

ここで、困難な課題を解決するためのコツをひとつ紹介します。それは、日頃から「あいさつ」をすることです。当然ですが仕事においても、「人と人とのつながり」がとても大切になります。いかに強い「つながり」をつくれるかは、日々の「あいさつ」が非常に重要なポイントとなります。新入社員のときに途方に暮れた問題も、数年後には10分で解決できるようになると言っても過言ではありません。社会へ出て、つまずいたとき、この言葉を思い出して試してみてください。抜群の効果を発揮するはずですよ！

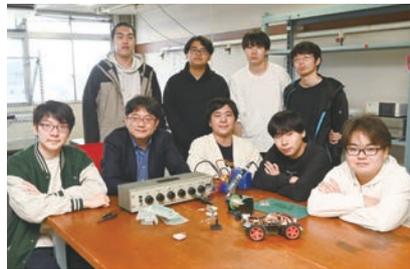
これからの皆さんの活躍を心より祈っています。それでは、社会人人生への良い旅を。



電気電子情報工学科
学科長 教授
瑞慶覧 章朝



板子 一隆 研究室
(パワーエレクトロニクス研究室)



工藤 嗣友 研究室
(電子デバイス研究室)



瑞慶覧 章朝 研究室
(電気応用研究室)



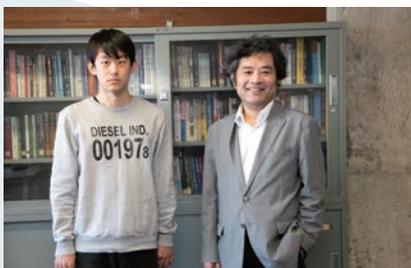
高取 祐介 研究室
(モビリティITC研究室)



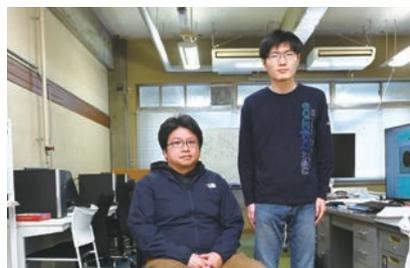
高橋 宏 研究室
(視環境研究室)



中津原 克己 研究室
(光機能デバイス研究室)



檜原 浩一 研究室
(非線形波動工学研究室)



宮田 統馬 研究室
(デジタル信号処理研究室)



門田 和雄 研究室
(機械技術教育研究室)



佐藤 史緒 研究室(教育心理学研究室)

卒業生へのメッセージ

ご卒業おめでとうございます

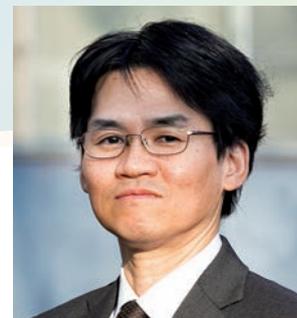
多くの人は、4月より実社会へと進むことになります。そのような意味で、大学の‘卒業’は、ゴールではなく新たなスタートです。

昨今、社会の閉塞感やグローバル化などの様々な現実が突きつけられ、予測困難な時代を迎えています。入学前後に遭遇したコロナ禍も予測困難な一例です。刻々と変わりうる状況に対し、何が正解かを皆が模索したはずです。

そのような時代と社会の真ん中で、皆さんたちは過ごしていくことになります。現在、常識と言われている物事が、時代とともに常識でなくなる場合もあるでしょう。このような世の中の「変化」に対応していく必要があります。

皆さんは、本学科で、多くのデザイン教育・課題解決型授業を学んできました。これらを通じて、「自分の頭で考え、行動する」、そのための知的な基礎体力と対応力を身につけたはずです。卒業後、これから多くの困難に直面すると思いますが、自分で考え、自ら模索し、自分なりの対応や答えを見つけていってください。

皆様が幸せな人生を歩んでいかれることを、応用化学科教職員一同、祈念いたします。



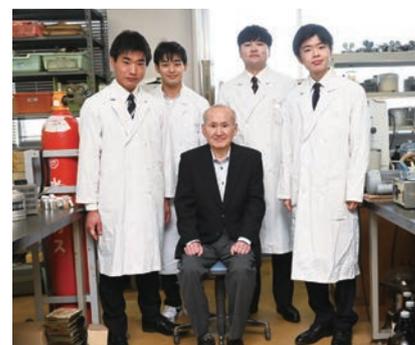
応用化学科
学科長 教授
森川 浩



大庭 武泰 研究室
(資源エネルギーシステム研究室)



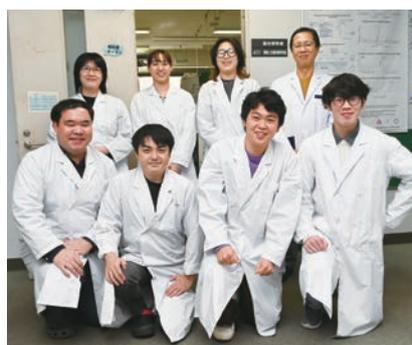
齋藤 貴 研究室
(環境化学・環境生物研究室)



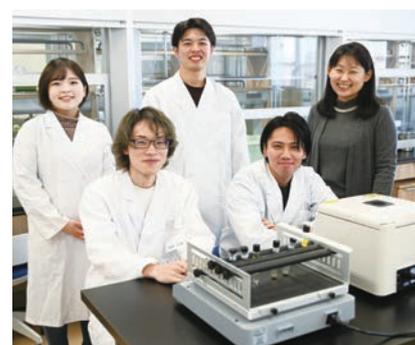
三枝 康男 研究室
(高分子化学研究室)



茂野 交市 研究室
(ファインセラミックス研究室)



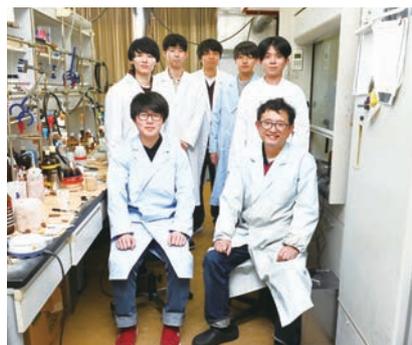
高村 岳樹 研究室
(環境と生体影響研究室)



村山 美乃 研究室
(無機材料化学研究室)



森川 浩 研究室
(有機材料研究室)



山口 淳一 研究室
(有機合成化学研究室)

卒業生へのメッセージ

贈ることば

皆さん、卒業・修了おめでとうございます。皆さんの学士(工学)、修士(工学)の学位取得を心から祝福します。また、ご家族の皆様におかれましては感慨もひとしおのことと存じます。心よりお慶び申し上げます。

皆さんはこの4年間あるいは6年間で、情報工学に関する基本技術・専門技術を修得しました。その集大成として卒業研究・修士研究に邁進し、やり遂げました。また、学業に限らず友人や先輩・後輩たちとともに喜んだこと、悔しがったこと、悩んで悶々としたこと、それらすべてが自分で思う以上に皆さんを成長させました。学生生活でやり遂げたこととその感激をいつまでも忘れないでください。

情報工学は現代社会において欠かせない分野となっています。これは先人の偉業です。技術の進化は加速し、未来には新たな挑戦が待っています。夢があります。本学で情報工学を学んだ皆さんには、これまでに学んだ知識やスキルを活かし、日々進化する技術を自分のものにして、社会に貢献する新たな価値の創造に挑戦してほしいと思います。先人に感謝を、未来に夢を！



情報工学科
学科長 教授
田中 哲雄



五百蔵 重典 研究室
(言語設計学研究室)



稲葉 達也 研究室
(経営システム工学研究室)



大塚 真吾 研究室
(Web工学研究室)



川喜田 佑介 研究室
(IoTシステム研究室)



木村 誠聡 研究室
(信号処理応用研究室)



清原 良三 研究室
(モバイルコンピューティング研究室)



塩野 直志 研究室
(社会システム工学研究室)



須藤 康裕 研究室
(知的システム工学研究室)



鷹野 孝典 研究室
(AIデータベースシステム研究室)



田中 哲雄 研究室
(ソフトウェア工学研究室)



田中 博 研究室
(情報通信研究室)



陳 幸生 研究室
(知識処理システム研究室)



辻 裕之 研究室
(数理画像情報学研究室)



納富 一宏 研究室
(対話型システム研究室)



松本 一教・鈴木 孝幸 研究室
(知能情報処理研究室/データ工学研究室)



宮崎 剛 研究室
(画像情報処理システム研究室)



森 稔 研究室
(メディア認識理解研究室)



谷代 一哉 研究室
(スポーツ情報科学研究室)



田邊 基子 研究室
(教育方法学研究室)



先端情報工学調査プロジェクト

卒業生へのメッセージ

未知のフロンティアでの皆さんの挑戦と活躍を期待しています

ご卒業、誠におめでとうございます。

皆さんは情報ネットワーク・コミュニケーション学科での学びを通じ、講義や研究、さらには課外活動まで、多くの経験を積み重ねてきました。その努力の成果は卒業論文や研究発表として見事に結実しています。これまでの努力に心から敬意を表します。

これから皆さんは、大学で培った知識や経験を基に、社会人として新たな一歩を踏み出します。社会では多様な課題や未知の挑戦が待っていますが、挑戦を続ける姿勢が未来を切り拓く力となります。

現代社会は急速な変化と技術革新の中にあり、活躍するためには、知識やスキルに加え、問題解決力や創造力、コミュニケーション能力が必要です。皆さんは大学生活を通じて、これらの力を確実に身につけてきました。卒業後もさらに磨きをかけ、自分の可能性を広げてください。

皆さん一人ひとりのご活躍を心から期待しています。そして皆さんの未来が充実したものとなることをお祈りしています。改めまして、卒業おめでとうございます。



情報ネットワーク・
コミュニケーション学科
学科長 教授

鳥井 秀幸



井家 敦 研究室
(情報システム評価研究室)



井上 哲理 研究室
(立体映像メディア研究室)



岩田 一 研究室
(コミュニケーションソフトウェア研究室)



白杵 潤 研究室
(応用情報システム(自律、モノの流れ、音楽)研究室)



岡崎 美蘭 研究室
(ネットワークセキュリティ研究室)



岡本 剛 研究室
(コンピュータウイルス対策研究室)



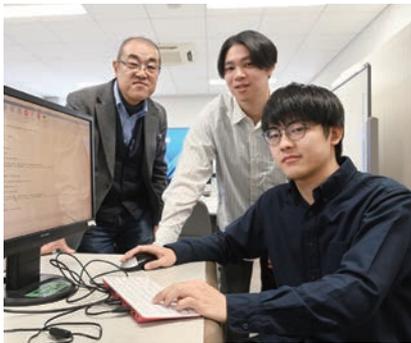
岡本 学 研究室
(セキュア・バリアフリー研究室)



塩川 茂樹 研究室
(モバイルネットワーク研究室)



須賀 弘道 研究室
(マルチメディア情報処理研究室)



瀬林 克啓 研究室
(分散ネットワーク研究室)



鳥井 秀幸 研究室
(無線通信理論研究室)



丸山 充 研究室
(ネットワークコンピューティング研究室)



凌 暁萍 研究室
(情報サービスシステム研究室)



門田 和雄 研究室
(機械技術教育研究室)



卒業生へのメッセージ

新しい時代を切り開くチャレンジ精神を持ち続けて

ご卒業おめでとうございます。また、卒業生の皆さんを支えてこられたご家族、ご関係の皆様にも感謝と敬意を表します。

皆さんが大学で過ごした4年間は、まさに激動の時代と呼べるかと思います。入学時の2021年はコロナ禍の影響を色濃く残しており、当初はオンラインでの授業が実施されていました。オンライン授業のためのツールが一般化し、新たな技術を使いこなすことが必須となりました。その後、2022年には生成AIのChatGPTが登場します。対話によって幅広い分野の文章を生成できるツールで、瞬く間に世界中で利用されるようになりました。このChatGPTを課題のために活用した人も多くいると思います。このように、次々と生まれる新しい技術に適応したのが皆さんです。

皆さんは本学科で最新のメディア技術やコンテンツ制作を学びました。ですが、技術もコンテンツも次々と新しいものが登場します。現状に満足せず、常に新しいことにチャレンジする精神を持ち続けてください。皆さんがこれからも元気にご活躍されることをお祈り申し上げます。



情報メディア学科
学科長 教授
春日 秀雄



上田 麻理 研究室
(応用音響工学研究室)



梶 研吾 研究室
(総合キャラクタ&エンタテインメントメディア研究室)



春日 秀雄 研究室
(画像処理・画像認識研究室)



北本 英里子 研究室
(xR空間デザイン・建築情報研究室)



日下部 実 研究室
(イマーシブ映像メディア表現研究室)



黒川 真毅 研究室
(サウンドコンテンツメディア研究室)



酒井 雅裕 研究室
(モバイル・xRコンピューティング研究室)



定國 伸吾 研究室
(メディア設計研究室)



佐藤 尚 研究室
(ビジュアルコンピューティング研究室)



鈴木 浩 研究室
(インタラクションデザイン研究室)



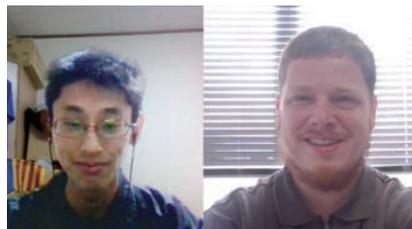
西口 磯春 研究室
(音響シミュレーション研究室)



西村 広光 研究室
(可視光と不可視光の画像処理・認識技術研究室)



服部 元史 研究室
(3DCG ゲーム VR 研究室)



ブランセ マイケル 研究室
(ゲーム開発研究室)



村上 寛光 研究室
(メディア芸術表現研究室)



谷中 一寿 研究室
(デジタル3Dシステム研究室)



山内 俊明 研究室
(画像処理応用・医用情報処理研究室)



渡部 智樹 研究室
(生活支援メディア研究室)



卒業生へのメッセージ

「未来へのエンジンを駆動させて」

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんの努力が実を結び、この日を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

また、ご家族の皆様の支えにも深く感謝いたします。

皆さんが過ごした4年間は、自動車に関連する基礎理論から最新技術まで、多岐にわたる知識を身につけ、実践力を鍛えた日々だったことでしょう。

卒業研究やプロジェクトでは、エンジン、電動化技術、車両制御システムなどに取り組み、挑戦の中で培った知見は、これからの道を切り拓く強力なエンジンとなるはずですよ。

進むべき道に迷ったときは、車両開発のプロセスと同じように「目的」を問い直し、「本質」を見極めてください。技術が社会や環境に与える影響を考えながら進めば、その道はきっと輝かしい未来につながるでしょう。

皆さんの未来が希望に満ちたものであることをお祈りします。

いつでも本学に立ち寄り、原点を振り返りながら再びアクセルを踏んでください。

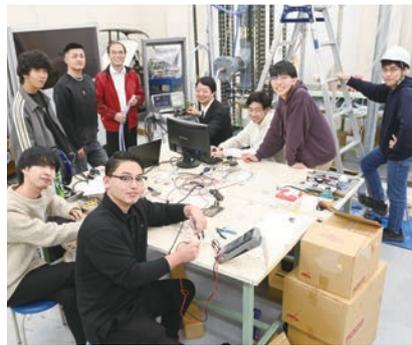


自動車システム開発工学科
学科長 教授

山門 誠



岡崎 昭仁 研究室
(モータースポーツ工学研究室)



川口 隆史 研究室
(ソーラービークル研究室)



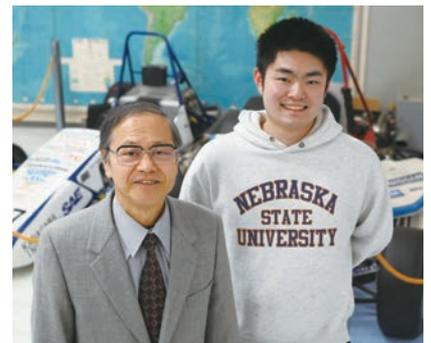
菊池 典恭・加藤 俊二 研究室
(コネクテッド・モビリティ研究室)



山門 誠・狩野 芳郎 研究室
(車両運動・制御研究室)



脇田 敏裕・小宮 聖司 研究室
(知能モビリティ研究室)



石綿 良三 研究室
(流体科学研究室)

卒業生へのメッセージ

ご卒業おめでとうございます

ロボット・メカトロニクス学科を卒業する皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、これまで皆さんを支えてくれたご家族、ご親族の皆様にも心よりお慶び申し上げます。

皆さんは、これまでの大学生活で多くのことを学んできたことと思います。特に、卒業研究では、これまでにない努力をしてきたことでしょう。皆さんがこれから社会で仕事をするということは、解決方法が与えられていない問題を期限内に処理して、他者に正確に報告するというもので、卒業研究で行ってきたことと同じです。皆さんは、多くの困難を乗り越えて卒業という目標を達成したので、大いに自信を持って社会へ飛び出してください。

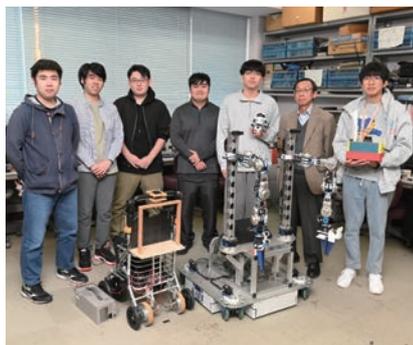
そして、常に他者を思いやる気持ちを持って、皆さんの力でよりよき時代を築かれることを期待しております。また、学生時代により仲間と出会い、喜びや苦しさを共有したことは皆さんの宝ですから、大学で出会った友人達とのつながりをこれからも大切にしてください。

教職員一同、皆さんのご健康とご活躍を願っております。



ロボット・メカトロニクス学科
学科長 教授

河原崎 徳之



河原崎 徳之 研究室
(知能インタフェース研究室)



三枝 亮 研究室
(人間機械共生研究室)



高尾 秀伸 研究室
(人間工学研究室)



高橋 勝美 研究室
(運動機能評価研究室)



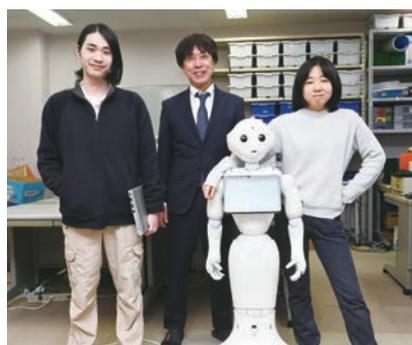
高橋 良彦 研究室
(人間支援システム研究室)



兵頭 和人 研究室
(知能機械研究室)



吉留 忠史 研究室
(ユニバーサルロボット研究室)



吉野 和芳 研究室
(ロボット・ビジョン研究室)



吉満 俊拓 研究室
(フルードパワー・災害救助ロボット研究室)

卒業生へのメッセージ

社会の変化に順応し学び続けよう

皆さん、ご卒業おめでとうございます。

新型コロナウイルスの流行により、皆さんが大学に入学された時期は、キャンパスでの授業や部活動、サークル活動など、多くのことが制限される厳しい環境でした。しかし、そのような不測の事態に直面しながらも、皆さんは私たち教員と共に新しい学びの形を模索し、学業に精力的に励み、今日という素晴らしい卒業の日を迎えました。

現代社会は、AIをはじめとした技術革新や環境問題など、加速度的な変化と多様な課題に満ちています。その中で皆さんに最も重要なのは、学び続ける姿勢です。新たな知識を吸収し、既存の考え方を柔軟に見直し、他者と協力しながら変化に対応する力が、これからの未来を切り拓く鍵となります。失敗を恐れず、挑戦を続けてください。

また、今日という節目に、ご家族やこれまで支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れずにお伝えください。自信を持って、新たな世界への一歩を踏み出してください。

皆さんのさらなる活躍を、私たち教職員一同、心から期待し、応援しています。



ホームエレクトロニクス開発学科
学科長 教授
黄 啓新



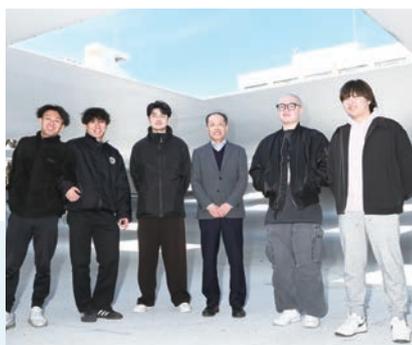
安部 恵一 研究室
(コピキタスコンピューティングシステム研究室)



奥村 万規子 研究室
(人間情報家電研究室)



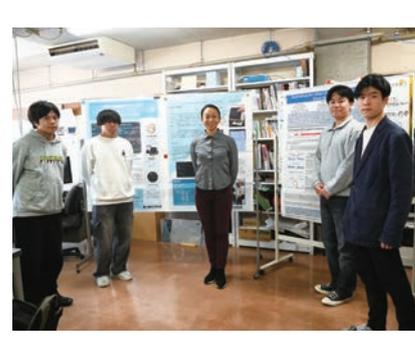
金井 徳兼 研究室
(知能家電研究室)



黄 啓新 研究室
(センサと家電研究室)



杉村 博 研究室
(IoTプログラミング研究室)



広井 賀子 研究室
(システムエネルギー学研究室)



三栖 貴行 研究室
(照明工学研究室)



山崎 洋一 研究室
(コミュニケーションロボティクス研究室)



丸山 充 研究室
(ネットワークコンピューティング研究室)

卒業生へのメッセージ

贈る言葉

応用バイオ科学科の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

さて、どんな4年間だったでしょうか？ 期待していた大学生活は過ごせましたか？ 目標は達成できたでしょうか？大切な何かを見付けることは？ 新しい生活がスタートする前にぜひ振り返ってみてください。同時に、1年後、5年後、10年後.....どんな自分になっているか想像してみてください。そして、今の自分には想像できない自分になって欲しいと思います。

現代社会は、VUCA(変動性、不確実性、複雑性、曖昧性)時代と呼ばれるように、近い将来でさえ誰にも予測できなくなっています。質問をすればAIは簡単に答えを出してくれますが、自分の人生です。大切なことは「自分で見て・考えて・答えを出す」、その過程を大切に過ごしていって欲しいと思います。応用バイオ科学科で学んだことや経験したことが少しでもその役に立つことを期待しています。思い出したらいつでも遊びにきてください。

最後になりましたが、保護者の皆様、大切なご子息、ご息女と過ごす時間を与えていただいたこと、教職員一同感謝しております。ありがとうございました。



応用バイオ科学科
学科長 教授
市村 重俊



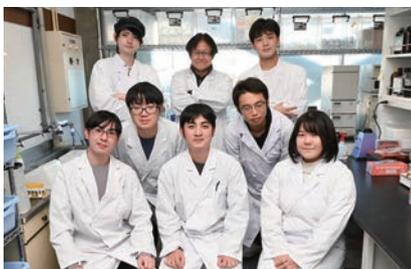
飯田 泰広 研究室
(生物制御科学研究室)



市村 重俊 研究室
(膜分離工学研究室)



井上 英樹 研究室
(老化・疾患生物学研究室)



岩本 嗣 研究室
(植物細胞工学研究室)



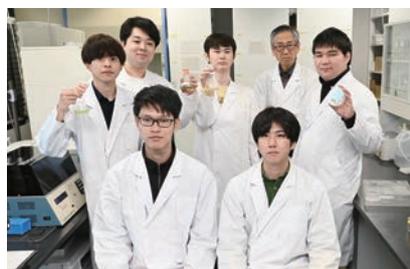
小澤 秀夫 研究室
(水産化学研究室)



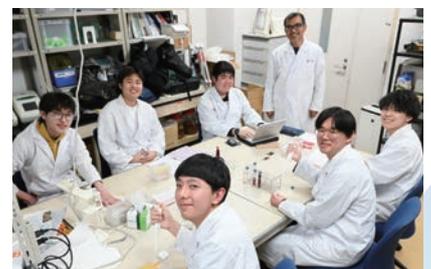
小池 あゆみ 研究室
(分子機能科学研究室)



仲亀 誠司 研究室
(微生物工学研究室)



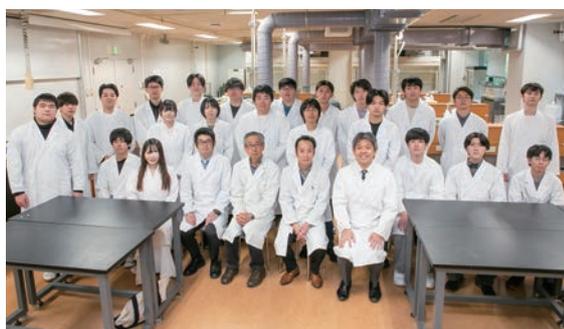
村田 隆 研究室
(時空間細胞生物学研究室)



山村 晃 研究室
(酵素工学研究室)



和田 理征 研究室
(環境高分子化学研究室)



生命科学研究室

柴田 大輔 研究室(繁殖生態学研究室)

清水 秀信 研究室(食品高分子/生物材料研究室)

村田 隆 研究室(時空間細胞生物学研究室)

山下 直也 研究室(神経生物学研究室)

卒業生へのメッセージ

「勇往邁進」で「対象者にとっての最善」を追究し、学び続けるプロフェッショナルに!!

7回生としてご卒業を迎えられた皆さん、おめでとうございます。
 温かく成長を見守られた保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。
 皆さんは、看護学科の教育課程を無事修められ成し遂げました。学修過程では困難にも遭遇したかと思いますが、特に臨地実習は、生命と向き合う厳しさ、闘病を支援する難しさ、看護のやりがいなど貴重な学びを得たと思います。看護研究、就職、国家試験など多くのハードルを越え、看護大学生としても、人間的にも大きく成長されました。
 今後、皆さんの活動舞台となる保健医療福祉界の動向は、超高齢化による疾病構造の変化に伴う多くの課題が山積しています。今後の皆様に向けて、「勇往邁進」の精神で、恐れずに前へ進んでいくことを期待します。勇往邁進とは、勇気を持って目標に向かいひたすら前に進むことです。新しい環境での看護実践は大変ですが、看護専門職として常に「対象者にとっての最善」を追究し、歩んでください。時には、謙虚に内省しながら歩みを振り返ってください。それがどんな挑戦も乗り越えられる力になります。
 皆さんのご活躍と前途に幸多きことを教職員一同祈念しております。



看護学科
 学科長 特任教授
新実 絹代



<基礎看護学>
 金子 直美 教授/川田 恵利子 助教
 黒澤 敦子 助手



<地域・在宅看護学>
 西田 幸典 教授



<成人看護学>
 奈良 唯唯子 准教授/窪田 光枝 講師
 久松 桂子 講師/高柳 朋恵 助手



<老年看護学>
 金子 直美 教授/佐口 清美 講師
 新井 望美 助教



<小児看護学>
 濱邊 富美子 教授/欠/下 郁子 講師



<母性看護学>
 前山 直美 特任教授/上田 恵 講師



<精神看護学>
 田代 誠 准教授/田岡 優美子 助手



<公衆衛生看護学>
 村中 峯子 特命教授



<看護管理学>
 新実 絹代 特任教授/泉山 由美子 講師



<看護事務センター・就職事務>

看護事務センター
 湯田平 咲弥香/田中 恵子/荒畑 真穂

就職事務
 阿部 美佐子

卒業生へのメッセージ

贈ることば

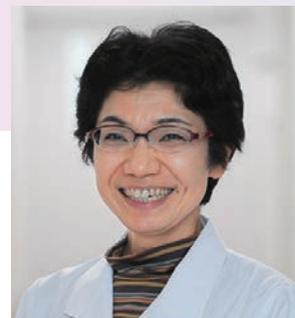
皆さん、ご卒業、おめでとうございます。

4年間、いかがでしたでしょうか？ 忙しい学科と覚悟して入学してきたと思いますが、想像以上に忙しかったのではないのでしょうか？ でも、こうやって、多くの関門を乗り越え、卒業できたこと、本当に頑張られたと思います。どうぞ自分自身を褒めてください。

これから社会人として社会に出ていきます。わくわくしていますか？ 緊張していますか？ 楽しいことばかりでなく、大変なことももちろんあります。いつまでもわくわく感を忘れず、困難なことにも立ち向かってください。皆さんなら必ずできると思います。

栄養士・管理栄養士の社会での認知度はまだまだ低いです。これらの資格を持つ者として、食生活の重要性を世に広め、栄養士・管理栄養士の活躍の場を広げ、レベルアップできるようにお互いに頑張りましょう。まずは、身近な人に食生活のアドバイスを！

皆さんのご健闘とご活躍をお祈りします。また、いつか会えますように！



管理栄養学科
学科長 教授
花井 美保



鮎澤 衛 研究室
(成育栄養学研究室)



大澤 絢子 研究室
(給食経営管理研究室)



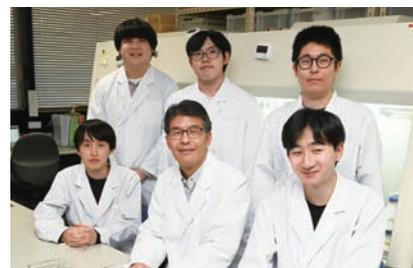
菅野 丈夫 研究室
(実践臨床栄養学研究室)



清瀬 千佳子 研究室
(栄養生化学研究室)



澤井 明香 研究室
(臨床栄養・健康科学研究室)



澤井 淳 研究室
(食品衛生学研究室)



野村 知未 研究室
(調理学研究室)



花井 美保 研究室
(基礎栄養学研究室)



原島 恵美子 研究室
(公衆栄養学研究室)



三宅 理江子 研究室
(応用栄養学研究室)



宮本 理人 研究室
(食品学・薬理学研究室)

卒業生へのメッセージ

臨床工学技士として責任感を持ち、努力を続けてください

臨床工学科卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、ご家族の皆様にも、心よりお慶び申し上げます。

皆さんは本学科に入学され、臨床工学技士を目指して学修してきました。皆さんは、困難な状況の中でも日々の努力の大切さ、継続することの難しさ、達成したときの喜びを、身をもって体験することができました。どこかで諦めていたら、今日という日を迎えることはできませんでした。臨床工学科の卒業生として自信と誇りをもち、社会に羽ばたいてください。

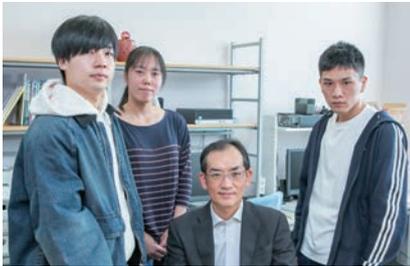
医療における臨床工学技士への期待は高まっています。臨床工学技士としての責任感を持ち、医療に貢献できるよう努力を続けてください。

皆さんの学修は、一人の力だけでできたものではありません。長い間、皆さんを育て、支えていただいたご家族に感謝し、ぜひそれを言葉や行動で伝えてください。また、多くの同級生とも支え合ってきました。大学時代の友人はかけがえのない存在です。大切にしてください。

学科一同、皆さんの幸せとご活躍をお祈りしています。



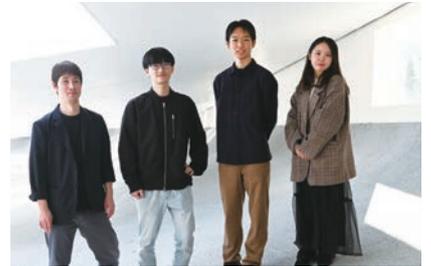
臨床工学科
学科長 教授
松田 康広



大瀧 保明 研究室
(人間センシング研究室)



河口 進一 研究室
(情報システム電力変換工学研究室)



川崎 路浩 研究室
(臨床工学医療情報研究室)



金 大永 研究室
(医療支援ロボットシステム研究室)



酒井 徳昭 研究室
(人工心肺制御学研究室)



鈴木 聡 研究室
(クリニカルイノベーションマネジメント(CIM)研究室)



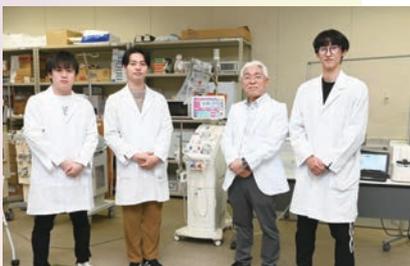
西村 宗修 研究室
(生体情報研究室)



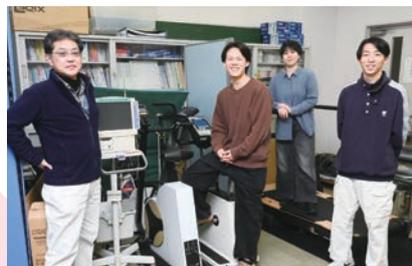
深澤 伸慈 研究室
(呼吸管理マネージメント研究室)



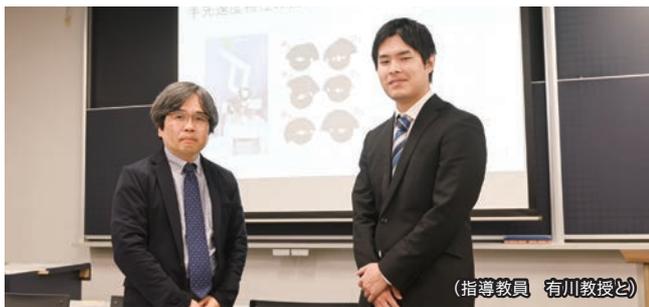
松田 康広 研究室
(ライフサポート工学研究室)



山家 敏彦 研究室
(血液浄化技術研究室)



渡邊 紳一 研究室
(運動生理・健康科学研究室)



(指導教員 有川教授と)

機械工学専攻 専攻主任 教授 川島 豪

修士(工学)の学位取得、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

修了にあたり「T型人間を目指そう」の言葉を贈ります。会社ではチームワークでプロジェクトを推進していきます。チームには異なる分野のエキスパートが集められます。したがって、異なる分野の専門家と意思疎通するために幅広い知識が必要となります。これが「T」の横棒です。そして、チームに貢献できるよう、1つの分野で深い専門性を持つことが求められます。これが「T」の縦棒です。このようなT型人間をめざしていくことで、人から頼られるエンジニアになることを期待しています。



応用化学・バイオサイエンス専攻 専攻主任 教授 清瀬 千佳子

博士前期課程修了、おめでとうございます。

この2年間、充実した日々を過ごせましたか？ 2年間の研究生活は山あり谷ありで、決して平坦な道りではなかったかと思います。しかし、後から思えば、その時間は皆さんの人生にとってとても大切な経験になったと感じるでしょう。

これから社会人としての生活が始まります。社会人になっても「学び」は必要です。その「学び」のやり方は大学院時代に得ていると思います。「継続は力なり」です。常に「学び」を忘れずに前に進んでいってください。いつまでも応援しています。



情報工学専攻 専攻主任 教授 丸山 充

修了生の皆さん、ご修了おめでとうございます。また、ご家族の皆様、ご子息、ご息女のご修了を心からお祝い申し上げます。皆さんに先日記載していただいたアンケートを拝見すると、満足度が高く大学院の2年間で、様々なことを積極的に学んだ様子が伺えます。

AI技術をはじめとしてIT分野の進展は激しいです。社会人になっても、これまでに培った様々な経験を糧に、貪欲に新規技術を吸収し社会に貢献してください。

今後の皆様の益々のご活躍を祈念しております。



電気電子工学専攻 専攻主任 教授 金井 徳兼

大学院電気電子工学専攻修了生 24名の皆さん、ご修了おめでとうございます。

学部教育を基盤としての研究活動中心の2年間はいかがでしたか？ 修士論文報告会の発表から充実された修士課程であったと想像します。今後は企業等におかれ、具体的に課題を発見し、製品や商品の開発・設計などに取り組まれると思います。新しい環境や人間関係に慣れるまではじめは大変とは思いますが、学部から大学院での経験や知識をもとにチャレンジ精神を持って物事に取り組んでください。

たまには本学に足を運んで研究室・専攻の後輩にアドバイスをいただけたら嬉しいです。幸多き人生をご祈念します。



機械システム工学専攻 専攻主任 教授 山門 誠

修了生の皆様、ご修了おめでとうございます。

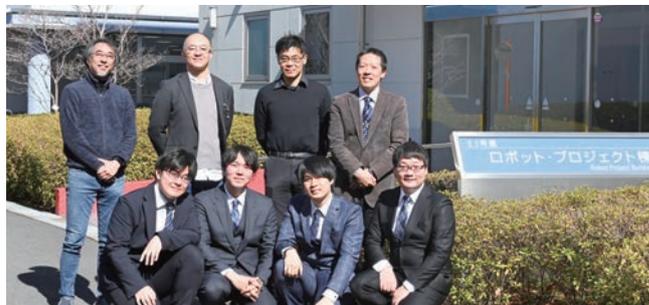
皆さんは、自動運転技術、コネクテッドシステム、車両制御など、未来のモビリティ社会を支える最先端技術に取り組み、高度な専門知識と課題解決力を培われました。

その経験は、社会に出てからの強力な武器となるでしょう。

これからは、次世代モビリティの実現に向けて、技術者としての責任を果たしてください。

複雑な課題に対しても、修士研究で培った分析力と柔軟な視点を活かし、本質を見極めた上で価値ある解決策を提案してください。

修了生の皆様の未来の道が、希望に満ちたものであることを心よりお祈り申し上げます。



ロボット・メカトロニクスシステム専攻 専攻主任 教授 高尾 秀伸

皆さんの強みは何でしょうか。まず、何といっても大学院で得た知識と経験が挙げられるでしょうか。しかし、実はそれだけではないと思います。それは「素直に受け入れる心」と「諦めずに続ける勤勉さ」です。

当専攻のOB/OGは就職先の企業様等から高い評価を受けていますが、その理由として皆様から「とにかく素直で勤勉だから」と伺います。このいわば「人間性の良さ」が知識と経験を活かす上で不可欠だということを表しています。ぜひ、この強みを活かして組織で篤い信頼を得て、大きく羽ばたかれることを心より祈念しております。

学生支援本部

教務課

2025年度学年暦

本学ホームページの「2025年度年間スケジュール」にて、2025年3月18日から公開中です。

<https://www.kait.jp/education/schedule/>

QRコードでも参照可能です。

※祝日の授業開講も予定しております。



保護者・保証人向けWEB成績閲覧環境について

「保護者ポータルサイト」内で、学業成績表、時間割、対面式授業出席状況、学生掲示板情報などを閲覧いただけます。2024年度後期の学業成績表につきましても3月上旬より公開しております。この機会に「保護者ポータルサイト」をご活用ください。

※学業成績表の個別送付はいたしておりません。

ポータルサイトの「専用パスワード」を紛失された場合には、教務課あてにメールにて、ご連絡ください。

教務課 E-mail : kyoumu@kait.jp

教職教育センター

2025年4月～7月のスケジュール

- 4月
 - ・教職課程ガイダンス
 - ・教育実習ガイダンス
 - ・教育実習申込・事前指導
 - ・第2回校内模試
 - ・前期対策講座開始
 - ・神奈川県実施要項説明会
 - ・横浜市実施要項説明会
- 5月
 - ・教育実習開始
- 6月
 - ・第3回校内模試
 - ・介護等体験実施ガイダンス
 - ・教員採用試験直前対策講座
- 7月
 - ・スターティングガイダンス
 - ・教員採用一次試験(関東地区)
 - ・一次合格発表
 - ・二次試験対策

学生課

国の「高等教育の修学支援新制度」について

①「修学支援新制度」が拡充されます！

2025年4月より多子世帯(扶養する子どもが3人以上)の学生については、所得制限なく、授業料が国の定める一定額まで減免されます。本学もこの制度の対象となっています。

制度の詳細については、文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度」をご確認ください。

URL https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm



また、申請手続きについては4月に「KAIT Walker 在学生の情報サイト」及びK2号館学

生課前奨学金掲示板でご案内します。

②修学支援新制度の学業要件(支援継続のための要件)が変更されています。

「修学支援新制度」には、学生の十分な学修状況を見極める観点から、学修意欲とともに、学修成果についても一定の要件(学業要件)が設けられています。この学業要件について見直しが行われ、2024年度以前から在学している学生も含めて、2025年度から新たな学業要件を適用されていますので、①の文部科学省修学支援新制度に関するホームページでご確認ください。

2025年度(令和7年度)父母説明会について

昨年度から各都市で開催する地区別父母説明会、本学を会場として行う父母説明会・個別相談会について全面的に対面形式で実施しており、本年度も以下の予定で実施を計画しております。日時、会場等詳細が確定次第、大学ホームページ等を通じてご案内申し上げます。

本学の教育、学生支援の取り組みについて直接説明申し上げ、理解を深め合う有意義な機会となりますので、奮ってご参加くださいようお願い申し上げます。

【地区別父母説明会(予定)】

- 5月17日(土) 新潟市 静岡市
- 5月18日(日) 高崎市 水戸市
- 5月25日(日) 長野市
- 6月1日(日) 宇都宮市
- 6月7日(土) 仙台市
- 6月8日(日) 郡山市

【父母説明会・個別相談会(予定)】

- 9月13日(土) 本学(厚木市)

キャリア就職課

4月以降の就職活動支援

■2026年卒(学部4年生、院2年生)対象

2026年卒対象に、4月以降も個別の企業説明会を学内対面およびオンラインで実施する予定です。参加企業情報などの実施スケジュールについては、進路希望登録時(求職登録: KAIT Career から)のメールアドレスに配信しますので、ぜひ、登録の確認をしてください。

■2027年卒(学部3年生、院1年生)対象

4月より、2027年卒(学部新3年生、院新1年生)を対象に就活セミナーを実施します。前期就活セミナーは対面にて開催します。その他、特別編の講座についても企画しております。必ず参加してください。(医療系学科(看護学科、臨床工学科)については別途実施)

KAIT Career(本学学生の為の就職情報サイト)からの情報収集を積極的に行い、キャリア就職課からの様々な告知のメール配信を見逃さないようにしましょう。

看護生涯学習センター

2024年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル・セカンドレベル修了式

看護師経験5年以上の看護職の継続教育機関として、2019年度より、認定看護管理者教育課程(ファーストレベル)を開始し6年目となります。また、昨年度より、認定看護管理者教

育課程(セカンドレベル)も開始いたしました。セカンドレベル第2期生となる受講者10名、ファーストレベル第6期生となる受講者42名の修了式をそれぞれ挙行政致しました。セカンドレベルは4か月間、ファーストレベルは3か月間の研修を無事に修了しました。

修了式には、小宮学長出席の、修了証書が授与されました。小宮学長、尾崎常務理事、前山学科長補佐、金子学科長補佐から祝辞、新実センター長より式辞が述べられ、修了者の代表者から謝辞が述べられました。

仕事と両立し週末2日間の研修は、多くの課題に苦慮している看護管理者の動機付けになりました。

本研修は、例年看護学科の実習病院からも多く受講頂き、看護学科の臨地実習、授業を支える力となって頂いており、今後更にネットワークが広がることが期待されます。ファーストレベルは6年間で236名、セカンドレベルは27名が修了されており、リーダーナースとして、看護管理者として、今後ますますのご活躍が期待されます。

神奈川工科大学
読書コンテスト2024

神奈川工科大学「読書コンテスト」は、学生の主体的な学びを励まし、文章作成とプレゼンテーションの表現力を培うことを目的としたコンテストです。今年度も読書感想文による一次審査で評価された選出者によって、動画配信によるプレゼンテーション(最終審査)が行われました。動画は12月16日～12月20日まで、図書館Webサイトで公開され、12月23日の審査会にて学長賞、図書館長賞、紀伊國屋書店賞ほか、各賞が決定しました。入賞した学生には、実行委員会より記念のトロフィー、盾が贈呈されました。また、昨年から始まった学生・教職員参加による投票スタイルの審査も行われ、最多得票を集めた学生には特別賞が授与されました。

〈審査結果〉

■学長賞

橋本 慧士さん(機械工学科2年)

■図書館長賞

小林 果梨さん(応用化学科3年)

■紀伊國屋書店賞

遠藤 和奏さん(応用バイオ科学科3年)

■特別賞/優秀賞

北田 翔也さん(情報ネットワーク・コミュニケーション学科3年)

■優秀賞

町田 千宙さん(情報メディア学科2年)

松谷 輝幸さん(電気電子情報工学科1年)

山之内 優斗さん(情報メディア学科3年)

柳瀬 航太さん(応用化学・バイオサイエンス専攻M2年)

川崎 慶さん(電気電子情報工学科2年)



審査会の様子

第46回後援会総会報告

今年度の後援会総会は、生憎の雨に見舞われましたが幾徳祭(学園祭)初日の11月2日(土)に開催いたしました。

コロナ禍による制約を受けていた学生の正課外活動は、その制約はほぼ解消され多くの場面で自由に活動できるようになり再活性化しております。学生の様々な活動に関して、後援会より「学会参加のための支援事業」、「クラブ活動やサークル活動の活性化のための課外活動支援事業」、「学食補助などによる健康支援事業」などの各種事業によりご支援を頂いております。

感染防止のための活動制限が解消された一方、諸物価、特に食料品価格の上昇、「円安」の進行などにより経済的な面で学生生活への影響が見られるようになっております。この問題に対応するため、2025年度後援会各種事業においては、「学食補助などによる健康支援事業(年間を通した学食100円補助事業)」の継続、「学会参加のための支援事業」における支援内容の充実化などを柱とした事業計画を後援会理事会より提案させていただき、皆様のご理解とご賛同を頂きました。誠に有難うございました。改めて御礼申し上げます。来年度におきましても引き続きご支援を賜りたくお願い申し上げます。

なお、「学会参加のための支援事業」は、下記の補助内容の改訂により学生の学会活動支援の充実化が図られました。

記

- 国内学会発表経費補助費: 宿泊費補助上限金額1泊あたり9,000円から10,000円に引き上げ。
- 国際学会発表経費補助費: 国際学会費用補助上限金額100,000円を120,000円に引き上げ。

(2025年4月1日より適用)

以上

(後援会事務局: 学生支援本部学生課)

2023年度決算報告書

(2023年4月1日より2024年3月31日まで)

神奈川工科大学後援会
(単位:円)

収入の部

| 科目 | 予算 | 3月末実績 |
|--------|---------------|---------------|
| 一般収入 | (75,015,000) | (72,840,000) |
| 入会金 | (3,465,000) | (3,300,000) |
| 会費 | (71,550,000) | (69,540,000) |
| 寄附金収入 | (0) | (0) |
| 受取利息収入 | (500) | (943) |
| 雑収入 | (0) | (0) |
| 収入合計 | 75,015,500 | 72,840,943 |
| 前期繰越金 | (71,622,320) | (78,092,020) |
| 収入の部合計 | 146,637,820 | 150,932,963 |

支出の部

| 科目 | 予算 | 3月末実績 |
|-----------|----------------|---------------|
| 総務部 | (7,120,000) | (1,217,296) |
| 事務費 | (6,700,000) | (954,856) |
| 支払手数料 | (300,000) | (192,740) |
| 渉外慶弔費 | (100,000) | (51,000) |
| 雑費 | (20,000) | (18,700) |
| 教務部 | (32,900,000) | (13,145,051) |
| 研究助成費 | (30,000,000) | (11,456,563) |
| 刊行物助成費 | (1,500,000) | (1,351,888) |
| 通信費 | (1,400,000) | (336,600) |
| 厚生部 | (104,800,000) | (52,686,713) |
| 学友会助成費 | (36,000,000) | (16,772,313) |
| 学園祭助成費 | 5,000,000 | 0 |
| クラブ活動助成費 | 28,000,000 | 13,292,088 |
| 特別活動費 | 3,000,000 | 3,480,225 |
| 上部団体加盟費 | (3,500,000) | (2,268,133) |
| ユニフォーム助成費 | (2,500,000) | (479,862) |
| コーチ助成費 | (14,000,000) | (10,300,978) |
| 同好会助成費 | (4,000,000) | (1,248,101) |
| 顧問活動費 | (4,500,000) | (2,480,850) |
| 学生指導助成費 | (2,500,000) | (879,650) |
| スポーツ用具助成費 | (2,000,000) | (698,729) |
| 卒業記念品費 | (6,800,000) | (5,212,460) |
| 課外活動表彰費 | (500,000) | (221,647) |
| 健康支援費 | (28,000,000) | (11,403,930) |
| 雑費 | (500,000) | (720,060) |
| 予備費 | (1,817,820) | (732,309) |
| 支出合計 | 146,637,820 | 67,781,369 |

| 科目 | 予算 | 3月末実績 |
|--------|----------------|----------------|
| 次期繰越金 | (0) | (83,151,594) |
| 前期繰越金 | (0) | (78,092,020) |
| 当期剰余金 | (0) | (5,059,574) |
| 支出の部合計 | (146,637,820) | (150,932,963) |

2025年度予算

(2025年4月1日より2026年3月31日まで)

収入の部

神奈川工科大学後援会

| 科目 | 2024年度予算 | 2025年度予算 |
|--------|---------------|---------------|
| 一般収入 | (74,334,000) | (67,224,000) |
| 入会金 | (3,444,000) | (3,444,000) |
| 会費 | (70,890,000) | (63,780,000) |
| 寄附金収入 | (0) | (0) |
| 受取利息収入 | (500) | (500) |
| 前期繰越金 | (78,092,020) | (83,151,594) |
| 収入の部合計 | 152,426,520 | 150,376,094 |

支出の部

| 科目 | 2024年度予算 | 2025年度予算 |
|-----------|----------------|----------------|
| 総務部 | (7,120,000) | (1,920,000) |
| 事務費 | (6,700,000) | (1,500,000) |
| 支払手数料 | (300,000) | (300,000) |
| 渉外慶弔費 | (100,000) | (100,000) |
| 雑費 | (20,000) | (20,000) |
| 教務部 | (35,700,000) | (36,000,000) |
| 研究助成費 | (30,000,000) | (30,000,000) |
| 刊行物助成費 | (4,000,000) | (4,500,000) |
| 通信費 | (1,700,000) | (1,500,000) |
| 厚生部 | (107,800,000) | (111,300,000) |
| 学友会助成費 | (36,000,000) | (38,000,000) |
| 学園祭助成費 | 5,000,000 | 5,000,000 |
| クラブ活動助成費 | 28,000,000 | 28,000,000 |
| 特別活動費 | 3,000,000 | 5,000,000 |
| 上部団体加盟費 | (4,000,000) | (4,500,000) |
| ユニフォーム助成費 | (3,000,000) | (3,000,000) |
| コーチ助成費 | (14,000,000) | (14,000,000) |
| 同好会助成費 | (4,000,000) | (4,000,000) |
| 顧問活動費 | (5,500,000) | (5,500,000) |
| 学生指導助成費 | (2,500,000) | (2,500,000) |
| スポーツ用具助成費 | (3,000,000) | (4,000,000) |
| 卒業記念品費 | (6,800,000) | (6,800,000) |
| 課外活動表彰費 | (500,000) | (500,000) |
| 健康支援費 | (28,000,000) | (28,000,000) |
| 雑費 | (500,000) | (500,000) |
| 予備費 | (1,806,520) | (1,156,094) |
| 支出の部合計 | 152,426,520 | 150,376,094 |

2025年度 神奈川工科大学後援会役員

(任期: 2025年4月1日~2026年3月31日)

| 役職 | 氏名 | 学科 |
|-----|---------|----------------------|
| 会長 | 半田 康人 | 情報ネットワーク・コミュニケーション学科 |
| 副会長 | 古 淵 良行 | 情報工学科 |
| 監事 | 磯 木 哲也 | 情報ネットワーク・コミュニケーション学科 |
| 理事 | 鎌 田 雅美 | 電気電子情報工学科 |
| 理事 | 田 中 光一 | 情報工学科 |
| 理事 | 荻 野 淳子 | 情報メディア学科 |
| 理事 | 金 岡 典子 | 機械工学科 |
| 理事 | 五十嵐 和宏 | 電気電子情報工学科 |
| 理事 | 野 口 幸一朗 | 電気電子情報工学科 |
| 理事 | 石 塚 博 | 情報工学科 |

神奈川工科大学学内役員

| 役職 | 大学役職 |
|------|----------|
| 顧問 | 学長 |
| 顧問 | 専務理事 |
| 常任理事 | 学生部長 |
| 常任理事 | 教務担当 |
| 常任理事 | 学生担当 |
| 常任理事 | キャリア就職担当 |
| 常任理事 | 財務担当 |

01 機械工学専攻、機械工学科の学生が 日本デザイン学会で 学生プロポジション優秀賞を受賞

11月9日に開催された「2024年度日本デザイン学会秋季企画大会」で、友田七海さん（大学院機械工学専攻博士前期課程1年）、井出守一さん（工学部機械工学科4年）、友成翼さん（工学部機械工学科4年）が、「紋様切り紙の衝撃吸収特性とデザイン手法の検討」の研究発表で学生プロポジション優秀賞を受賞しました。緩衝材として広く用いられる「切り紙技術」に日本の伝統紋様の意匠を取り入れた新しい包装素材として実用化が期待されています。なお、同研究テーマは昨年度の卒業生・井上作斗さんより引き継ぎ、研究を進めたものです。



02 タイビン医科薬科大学（ベトナム）の 先生方が看護研究II発表会を見学

11月26日、看護研究II発表会が行われました。4年生が4月から指導教員とともに取り組んできた65の演題は、いずれの研究計画も看護の課題を研究的に取り組める内容になるまで練磨されていました。発表会には大学間協定を結んでいるベトナムの国立タイビン医科薬科大学の先生方にもお越しいただき、「日本社会の高齢化事情に即した研究テーマで、かつ十分な文献検討がされている」とのお褒めの言葉や、「自国の教育にも取り入れたい」との感想をいただきました。



03 サイエンスキャッスル2024東京・関東大会に プロジェクトパートナーとして参画

12月7日に開催された、中高生のための学会「サイエンスキャッスル2024東京・関東大会」（主催 株式会社リバネス）で、「女子学生のための神奈川テクノフューチャープログラム：科学で夢を形に」に関するブース展示、および応用化学生物学科の学生、応用化学・バイオサイエンス専攻の大学院生による、特別企画「いきモノづくり ワークショップ～生き物の特徴を生かして、新しい製品を生み出そう～」を実施しました。開会式では小池あゆみ教授（工学部応用化学生物学科）が挨拶を行い、中高生に向けて、研究の心得を伝えるとともにエールを送りました。ワークショップ後には、参加者と学生が交流する場面も見られ、当大学での研究室教育の一端を直接お伝えする機会となりました。

04 情報工学専攻の大学院生が BMFSA学会2024年度最優秀論文賞を受賞

12月14日に開催された「第37回年次大会 BMFSA2024 in 日大」（主催 バイオメディカル・ファジィ・システム学会）で、齊藤仁さん（大学院情報工学専攻博士前期課程2年）の研究論文「特定単語の打鍵タイミングと打鍵音を用いた継続的な本人認証手法の検討」が、2024年度の最優秀論文賞を受賞しました。齊藤さんは「最優秀論文賞をいただき、大変光栄に感じております。今回の受賞を励みに、さらなる研究の発展に尽力してまいります」と抱負を話しました。

- 11.27 第72回電気科学技術奨励賞を受賞
- 11.29 本学学生が第32回日本人間工学会システム大会でシステム大会奨励賞を受賞
- 12.26 情報工学専攻の大学院生がADADA+CUMULUS 2024でBest Work-in-Progress Awardを受賞
- 1.27 電気電子情報工学科の学生が2024 SASシンポジウムでポスター賞を受賞
- 2.10 応用化学生物学科岩本嗣教授の共同研究の論文が、学術雑誌「Biology」の表紙を飾りました
- 2.12 大学院電気電子工学専攻の学生がIDW'2024でポスター賞を受賞
- 2.18 電気電子情報工学科の学部生と電気電子工学専攻の大学院生が電気学会で優秀発表賞を受賞
- 2.20 情報工学専攻の大学院生がICGHIT2025でBest Paper Awardsを受賞

※詳細は本学ホームページをご覧ください。



2025年度 学年暦(2025年4月~2026年3月)

※変更になる場合があります。ホームページでご確認ください。

4月

1日(火) ガイダンス(2年次以上)
2日(水) ガイダンス(2年次以上)
3日(木) 新1年生ガイダンス(事務)
4日(金) 新1年生ガイダンス(学科)/リサーチデー(外部向け)
5日(土) 入学式/リサーチデー(学内向け)
7日(月) 新1年生ガイダンス(学科)
8日(火) 初頭集中授業(工学部・情報学部1年)
10日(木) 健康診断
11日(金) 健康診断
12日(土) 健康診断
17日(木) ガイダンス予備日・個別指導
18日(金) 前期授業開始
29日(火) 昭和の日 (通常授業日)

5月

2日(金) 補講日
3日(土) 憲法記念日
4日(日) みどりの日
5日(月) こどもの日
6日(火) 振替休日
7日(水) 創立記念日 (休講日)
8日(木) 補講日
17日(土) 地区別父母説明会(予定:新潟市・静岡市)
18日(日) 地区別父母説明会(予定:高崎市・水戸市)
25日(日) 地区別父母説明会(予定:長野市)

6月

1日(日) 地区別父母説明会(予定:宇都宮市)
7日(土) 地区別父母説明会(予定:仙台市)
8日(日) 地区別父母説明会(予定:郡山市)

7月

21日(月) 海の日 (通常授業日)
31日(木) 前期授業終了

8月

1日(金) 補講日
4日(月) 補講日
5日(火) 補講日
6日(水) 試験日
7日(木) 試験日
9日(土) 事務室夏期一斉休暇 ~ 8/16まで(予定)
11日(月) 山の日

9月

13日(土) 大学実施:父母説明会・個別相談会(予定)
15日(月) 敬老の日

16日(火) 後期ガイダンス(1)
17日(水) 後期ガイダンス(2)
18日(木) ガイダンス予備日・個別指導
19日(金) 後期授業開始
23日(火) 秋分の日 (通常授業日)

10月

13日(月) スポーツの日 (通常授業日)
30日(木) 幾徳祭準備
31日(金) 幾徳祭準備

11月

1日(土) 幾徳祭
2日(日) 幾徳祭
3日(月) 文化の日 幾徳祭片付け
4日(火) 補講日
5日(水) 補講日
23日(日) 勤労感謝の日
24日(月) 振替休日 (通常授業日)

12月

24日(水) 冬期休暇開始 ~ 1/6まで
26日(金) 事務室冬期一斉休業 ~ 1/5まで

2026年1月

12日(月) 成人の日
16日(金) 休講日
17日(土) 大学入学共通テスト
18日(日) 大学入学共通テスト
19日(月) 後期授業終了
20日(火) 補講日
21日(水) 補講日
22日(木) 試験日
23日(金) 試験日
26日(月) 補講日
27日(火) 補講日
30日(金) 一般入試A日程
31日(土) 一般入試A日程

2月

1日(日) 一般入試A日程
11日(水) 建国記念の日
23日(月) 天皇誕生日
27日(金) 一般入試B日程

3月

20日(金) 春分の日
学位記授与式・卒業式

第7回工大サミットが神奈川工科大学にて開催されました

2024年11月30日

11月30日(土)、神奈川工科大学にて「工業高校と工業大学の未来」をテーマに「第7回工大サミット」が開催されました。一部のプログラムはオンラインでもライブ配信され、官公庁、企業関係者や大学関係者など全国から多くの方にご視聴いただきました。



開会挨拶

工大サミットとは

工業立国を支える人材育成に対する工科系大学としての使命と、グローバルな環境で活躍できる人材育成を共通課題とし、各大学の人的・物的資源の情報共有および相互の連携・協力による理工系高等教育の更なる活性化をめざして、2017年3月に設立されました。現在は工科系私立9大学が参加し、各大学が持ち回りで毎年1回「工大サミット」を開催しています。

参加大学

愛知工業大学、大阪工業大学、神奈川工科大学、芝浦工業大学、東北工業大学、広島工業大学、福井工業大学、福岡工業大学、北海道科学大学(50音順)

第1部 基調講演と学長パネルディスカッション



「全国の工業高等学校の現状と課題」と題して、全国工業高等学校長協会 守屋文俊理事長が基調講演を行いました。

学長パネルディスカッションでは、9大学の学長が登場し、「工業高校と工業大学の未来」をテーマに、各大学が取り組む工業高校との連携についての事例紹介・報告を行いました。



神奈川工科大学と工業高校による連携、及び、工業高校の教員養成への取り組みを紹介する小宮学長(中央)

第2部 分科会テーマA「工業教育の未来」

「工業教育の未来」

工業高校から工業・工科大学に進学した各大学の在学生在が、自身の経験や学び、将来についてのプレゼンテーションと、ディスカッションを行いました。



本学からは、中山鴻志さん(電気電子工学専攻博士前期課程2年)が登場し、工業高校での学びが大学でどのように活かされたか、また、教員を志望した理由を紹介しました。中山さんは、来年度より工業高校の教員になる予定です。

閉会式では、文具女子博実行委員会による「文具のアイデアコンペティション2024」の表彰式、分科会ファシリテーターからの報告、来年度「工大サミット」を開催する福井工業大学の紹介が行われ、最後に小宮学長の挨拶で閉会しました。

後 援:公益社団法人 全国工業高等学校長協会、文部科学省
神奈川県工業高等学校長会、東京都立工業高等学校長会、
静岡県工業高等学校長会
共 催:芝浦工業大学教育イノベーション推進センター 理工学教育
共同利用拠点
特別協力:文具女子博実行委員会

分科会テーマB「工業教育の質保証」

「工業教育の質保証」

神奈川工科大学、神奈川県工業高等学校長会、静岡県工業高等学校長会、東京都立工業高等学校長会、福井工業大学による工業教育の事例や成果に関するプレゼンテーションと、ディスカッションを行いました。



本学からは小池あゆみ教授(工学部 応用化学生物学科)が登場し、今年度より実施している「理工系女性教育プログラム」と「女子学生のための神奈川テクノフューチャープログラム」について紹介しました。

学生交流イベント

工大サミット参加大学の学生によるeスポーツイベントがKAIT TOWNで開催され、熱戦が繰り広げられました。



本学公式eスポーツ部「KAIT eSports」の学生たちが運営を担当。